

市が魅力を、価値を、エネルギーを「私に」伝える情報紙

広報とめ
トゥーミー

TO Me

3

Mar 2020
Vol.298

令和2年
登米市成人式



【ときめき人】

秋山 裕太さん

【特集】

令和2年登米市成人式

～令和とともに大人を歩む～

【今月の表紙】

令和2年登米市成人式

(関連記事2ページから)

Proud!

被災地の復興を支援しよう

Japan

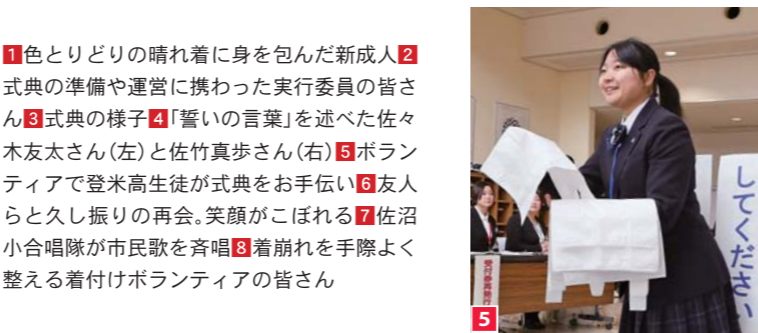


出会えた 全ての人たちに感謝

稲葉 日帆里さん
南方町北本郷

私は、この20年間で、たくさんの経験をし、多くの人と出会うことができた。中でも、中学から現在も続けているボランティア活動での出会いが、私を大きく変えたと思います。

子どもたちの地域活動支援や地域づくりに取り組み中で、全員で一つのものを創り上げる楽しさや難しさ、壁を仲間と乗り越えたこと、たくさん笑ったこと、さまざまな年代や職業の人と関わることで視野が広がったことなど、多くの思い出を得ることができました。苦しいことや悩むこともありましたが、全てが



1色とりどりの晴れ着に身を包んだ新成人2式典の準備や運営に携わった実行委員の皆さん3式典の様子4「誓いの言葉」を述べた佐々木友太さん(左)と佐竹真歩さん(右)5ボランティアで登米高校生が式典をお手伝い6友人らと久しぶりの再会。笑顔がこぼれる7佐沼小合唱隊が市民歌を斉唱8着崩れを手際よく整える着付けボランティアの皆さん



20歳の主張

新成人を代表し2人の「20歳の主張」(要約)を紹介します

感謝の気持ちと 大人の自覚を大切に

白石 雄大さん
東和町錦織4区



私は成人の日を迎えるに当たって、大切にしていきたいことがあります。まずは「感謝」することです。家族、地域の方々、友人など多くの人の支えがなければ、今の私はなかったでしょう。これからもお世話になる周りの人々に対して感謝の気持ちを大切にしていきたいです。

次に、大人としての「責任」を持つことです。大人になることで、さまざまな権利を手にし、行動には責任が伴います。社会の一員としての自覚と責任を取れるよう日々精進していきたいです。



せ合う中で、文化が生まれ育つという意味が込められています。元号に込められた思いとともに、新成人の皆さんがそれぞれの夢を大きく咲かせることができるよう期待します」と式辞を述べました。

新成人を代表して佐々木友太さん、追町大綱南さんと佐竹真歩さん、豊里町下町さんが、「新しい時代に成人した私たちが、この地域を魅力あるまちにしていきたい。発展に貢献していきます。これからは、一人一人が成人としての自覚を持ち、夢や目標に向かって日々努力していくことを誓います」と力強く誓いの言葉を述べ、決意を新たにしました。

特集 令和2年 登米市成人式 ～令和とともに大人を歩む～

1月12日、登米総合体育館で「令和2年登米市成人式」が開かれました。令和最初の成人式に20歳という節目を迎えた新成人。新たな決意と自覚を胸に、令和とともに大人として歩み始めました。

新成人を祝福するかなのような穏やかな天気に恵まれ、「令和2年登米市成人式」が1月12日、登米総合体育館で開かれました。今年の新成人は1999(平成11)年4月2日から2000(平成12)年4月1日までに生まれた815人で、昨年より6人減少。式典には、663人(男357人、女306人)が出席しました。

正午過ぎ、会場は色とりどりの振袖や羽織はかま、スーツに身を包んだ新成人であふれ、華やかな雰囲気にかつて共に過ごした友人との再会を喜び合い、近況を報告したり、記念撮影したりする姿が会場の至る所で見られました。

午後1時から開かれた式典では、熊谷盛廣市長が「新たな元号『令和』には、人々が美しく心を寄





文 俊美さん
南方中学校出身

\あの頃の / \これからの/
ぼくとわたしの

中学生の頃に、抱いた夢。あれから
あの頃夢見た将来に近付いた新成

高校から仙台で寮生活だったので、登米市に来たのも久しぶり。新しい道路やお店などができ、いろいろ変わっていて驚きました。
将来の夢は、中学生の時と変わらずキャビンアテンダント。20歳になり、将来が夢ではなく現実味を帯びてきました。今は、東北学院大学に通いながら、夢に向かって勉強に励んでいます。
大学の授業のほかにも週に6日、部活動で剣道をしているため、時間が取れませんが、いつか海外を旅して見識を広めたいです。
これからは、自分の意思だけでなく周りの意見も取り入れていくことが大事だと感じています。周りや後先をしっかり考えて行動できる両親や姉のような大人になりたいです。

**笑顔のあふれる
やさしいキャビンアテンダントに**

俊美さんは部活動では吹奏楽部に所属。ユーフォニアムという金管楽器を担当しています。そんな俊美さんの将来の夢は、シンガポール航空のキャビンアテンダントになることです。韓国に住む祖父母に会うため飛行機に乗る機会が多かった俊美さん。機内で働くキャビンアテンダントのいつも笑顔で接し

てくれる姿に、とても感動したそうです。両親の影響もあり日本語と韓国語を話すことができる俊美さん。より多くの人とコミュニケーションを取りたいと、CDや本で英会話の習得にも励んでいます。「将来はキャビンアテンダントを育成・指導する人になりたい」と笑顔で話していました。

南方中 1年
(広報とめ2012.12.1号から)



夢 Dream

数年が経ち、20歳を迎えた新成人。
人に、現在やこれからについて聞きました。



横山 隼太さん
東和中学校出身

県職員になって、復興の力に

「夢は、県職員になること」。静かな口調で話す隼太さんの言葉に迷いはありません。現在中学1年生の隼太さんの夢を県職員に導いたのは、昨年3月の東日本大震災でした。連日テレビを通じ、石巻や南三陸など被災地で奮闘する宮城県職員の姿を見て「自分も復興の力になりたい」と強く思ったそうです。

県職員になりたいと思うようになってから、家ではテレビのニュースを注意深く見るようになったといいます。特に村井嘉浩知事が出ていると「とてもがんばっている」と感心するそうです。「何でもいから復興を手伝いたいんです」という隼太さんの目に、希望の光が見えました。

東和中 1年
(広報とめ2012.7.1号から)



現在は、尚絅学院大学に通っています。小学5年生の時に東日本大震災を経験し、復興を手助けしたいという気持ちが芽生えました。今は、警察官を目指しています。警察官になれば、復興の手助けはもちろん、いずれは登米市で働き、地域に恩返しできればと思っています。夢をかなえるため、勉強などを計画的にやっています。
20歳を迎え、大人として自分の行動には責任を持つという自覚が生まれてきました。また、20年間育ててくれた親には感謝しかありません。今までは、自分のことだけで精一杯でしたが、これからは、親孝行をしたいと考えています。まずは大学を卒業し、社会人として一人前になって安心させてあげたいです。

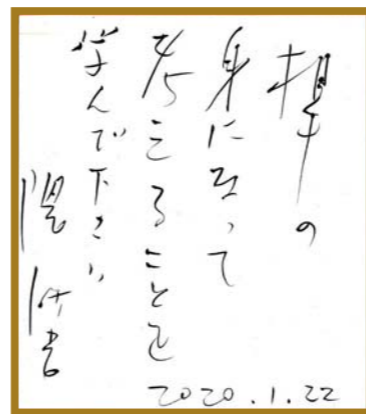


とめふるさと大使 隈研吾氏から

新成人へのメッセージ
Message



Photo©J.C. Carbonne



登米町の森舞台や新国立競技場の設計に携わった隈研吾氏が、2019年9月、本市初となる「とめふるさと大使」に就任しました。隈氏から、新成人に向けてのメッセージ入り色紙が贈られましたので紹介します。色紙には、「相手の身になって考えることを学んで下さい」とエールが書かれています。

新成人の皆さん
成人おめでとうございます

皆さんは、20歳の節目「成人式」を迎え、令和とともに大人として歩み出しました。社会人として、すでに歩んでいる人、夢に向かって、今まさに頑張っている人、将来に悩んでいる人など、さまざまな状況に置かれています。迷ったときは、まず過去を見つめ、次に未来を見つめ、そして現状を見つめることで、今やるべきことが見えてきます。

この先、皆さんが進む道には、大きな困難や壁が立ちますが、自分だけの力では乗り越えられないこともあると思います。そんな時は、一人で悩まず、家族や友人に相談することも大切です。きっと力になってくれるはずです。

今年成人を迎えた815人の目の前には無限の可能性が広がっています。皆さんが今後、ふるさと「登米市」の誇りを胸に活躍してくれることを心より願っています。

米作りの味わい学ぶ

登米の米魅力UP大作戦

「登米のお米魅力UP大作戦！」(まなびのたねネットワーク主催)は1月25日、南方公民館で開かれ、市内中学生や生産者など約60人が参加しました。

この事業は、基幹産業の米作りを学び、地域の一員として活躍する人材を育てることが目的。参加者は、地域の生産者などから米作りやご飯の炊き方を教わり、水田ではロボットトラクターや農業用ドローンなどを操作し、スマート農業を体験しました。津山中2年の日野天晴さんは「農業の話がとても面白く、将来の夢の一つとして視野に入れてもいいと感じました」と米作りに携わる人たちの活躍に目を輝かせていました。



自動運転ができる田植え機に乗り、操作説明を受ける参加者。進化する農業技術に驚き、農作業の楽しさを感じていました。

結束深め誓い新たに

指導隊と消防団が出初式

市交通安全指導隊(菅原見隊長)、防犯指導隊(及川徳朗隊長)と消防団(菅原英義団長)が、市民の安全・安心を守る誓いを新たに、出初式を実施しました。

両指導隊の合同出初式は1月11日、中田総合体育館で開かれ、111人の隊員が参加。熊谷盛廣市長や佐沼・登米警察署長ら来賓から、服装や警備などの点検を受けた隊員は、新年の活動に向けて気持ちを引き締め、結束を高めました。消防団の出初式は1月12日、登米祝祭劇場で開かれ、団員約600人が参加。団長を先頭に消防防災センターから登米祝祭劇場まで力強く行進し、士気旺盛に威風堂々とした雄姿を披露しました。



交通・防犯指導隊の合同出初式で、装備品の点検を受ける隊員。地域の安全を守るため、任務遂行に尽力することを誓いました。

伊豆沼の冬の風物詩

マガンの飛び立ちに感動

「北帰する雁を愛しむ会」(登米市伊豆沼内沼サンクチュアリセンター、新田あるものさがしの会主催)は1月26日、追野鳥観察館で開かれ、約20人がマガンの飛び立ちを観察しました。

愛しむ会は、伊豆沼から去りゆくマガンに、また来てほしいという願いを込めて企画。数万羽のマガンが一斉に空を覆う圧巻の光景を子どもたちに見せたいと父親に連れられて参加した伊藤楓夏さん(7)＝追町大形＝と星真央さん(7)＝追町品の浦＝は「寒かったけど楽しかったです。たくさん鳥が一気に飛んで行ったのがすごかった」と初めて見る光景に驚いていました。



参加者はマガンの生態や伊豆沼の自然について学び、寒さを忘れてマガンの飛び立ちに見入っていました。

静かに無病息災祈る

佐沼でどんと祭・裸参り

「佐沼どんと祭・裸参り」(登米中央商工会青年部主催)は1月14日、佐沼一市通りなどで開かれ、裸参りには商工会青年部のほか、市内の企業、団体などから約170人が参加しました。

どんと祭・裸参りは、住民の無病息災や地域の活性化などを祈ろうと昭和54年から始まり、今年で42回目。裸参りに参加した佐藤真理絵さん(34)＝南方町北本郷＝は「南方ナーシングホーム翔裕園の同僚と参加しました。施設の利用者さんや職員の無病息災と、家族が健やかに過ごせるように祈りながら歩きました」と平穏な一年を願いました。



参加者は、さらしや白装束姿にたいまつを持ち、若鮎はさま館前から津島神社に向かって厳かに歩みを進めました。

子どもが未来を提案

未来新聞コンクール表彰

「第12回子どもたちが考える登米市の未来新聞コンクール表彰式」が1月26日、中田農村環境改善センターで開かれました。

コンクールは、登米市の未来を支える子どもたちが普段の生活の中から地域の良さや問題点を見つけ、将来のまちづくりに興味を深めることが目的。「つながるまち、住みたいまち」をテーマに、小学5年の部、6年の部合わせて過去最多の116作品の応募がありました。最優秀賞には、5年の部が新田小の「未来を信じて」チーム、6年の部は横山小の「町の笑顔」チームが選ばれ、熊谷盛廣市長から賞状と記念品が贈られました。



新聞は、子どもならではの自由な発想と取材から得た情報をもとに制作。入賞した8チームが新聞の内容を発表しました。

学んだ知識生かして

高校生がドローンで授業

「高校生が教えるプログラミング教室」は1月22日、中田中学校で開かれ、登米総合産業高情報技術科3年生5人が中田中3年生36人に、タブレット端末とドローンを使って、プログラミングについて教えました。

プログラミング教室は、高校で学んだ知識や技術を生かし、日常生活に活用されているプログラミングの仕組みに触れてもらうことが目的。講師を務めた堀内晴斗さん＝中田町南加賀野＝は「教えることで自分たちも深く学びました。身近なタブレット端末などからプログラミングに触れることで、さらに興味を持ってもらえればうれしいです」と笑顔を見せていました。



ドローンの飛ぶ高さや方向をタブレットにプログラミング。思い通りに飛行するよう、繰り返しプログラムしていました。

Information 01

宮城オルレ登米コースが新たにオープン

地域の魅力を発信・活用しながら、インバウンドを含む観光客を誘客するため、韓国版トレッキングコース「宮城オルレ登米コース」を、3月21日にオープンします。

コースは、豊里公民館をスタート地点とし、平沼沼ふれあい公園までの約11キロ。所要時間は4〜5時間程度の初級コースです。

本市の象徴ともいえる田園風景や雄大な北上川の流れを眺めるとともに、地域の歴史や文化に触れることができるコースです。

■オープンイベント
 【日時】3月21日(土)午前10時
 【場所】豊里花の公園グラウンド(豊里公民館隣)



【問い合わせ】産業経済部商業観光課(観光物産係)
 ☎0220(34)2734

Information 02

ポーランド共和国の食文化に触れる 家庭料理試食セミナー



ポーランドの家庭料理「ピエロギ」

東京2020オリンピックポータルトチームの事前合宿の受け入れ支援に向け、ポーランドについて広く理解し、親しみを深めてもらうために、ポーランド家庭料理試食セミナーを開催します。

【日時】3月15日(日)午後1時30分
 【場所】長沼ボート場クラブハウス
 【募集人数】先着50人程度
 【参加費】無料

【申込期限】3月10日(火)
 【申込方法】電話またはメールで申し込みください。メールの場合は、氏名、電話番号を記入し、「ポーランド家庭料理試食セミナー参加希望」と明記してください
 【申し込み・問い合わせ】教育委員会教育部生涯学習課(スポーツ推進係)
 ☎0220(34)2698
 ✉syogaigakusyuu@city.tome.miyagi.jp

Information 03

あなたの会社広告を市公用車に

市公用車への広告掲載希望者を募集します。皆さんのお店などの走る広告塔として活用ください。

【対象者】市内に事業所や事務所、店舗などを持つ個人、法人
 【広告掲載車両】軽ワゴンタイプの車両13台(年間走行距離1万キロ以上、年間稼働日数200日以上)
 【申込受付期間】2月20日(木)〜3月6日(金)
 【申込方法】申込書に必要事項を記入の上、郵送または持参ください(郵送の場合は、封筒に「公用車広告掲載申込」と記載してください)
 ※指定の用紙は総務部総務課で配布するほか、市公式ホームページからもダウンロード

広告サイズ 掲載位置	1台につき3枠 (縦30センチ×横50センチ[車両両側後列ドア2枠、後部1枠])※広告内容に「登米市有料広告」の表示をすること(サイズ縦3センチ×横24センチ以上)
掲載方法	ラッピングフィルムやカットティングシートなど、容易に剥がれる素材を貼り付けます(車体への直接塗装はできません)
掲載期間	令和2年4月〜令和3年3月
掲載料	1台当たり4千円/月(月額4万8千円) ※広告の製作費、車両への貼り付け、撤去費用は広告主の負担となります



Information 06

ふるさと応援寄附金 返礼品事業者を募集

登米市にふるさと納税をした人に、本市の魅力を伝える返礼品として、地場産品やサービスを提供できる、市内に事業所などがある企業・団体・個人事業者を随時募集しています。ふるさと納税の返礼品として商品を提供することで、全国の人々の目に触れ、販路拡大につながることが期待されます。

【問い合わせ】総務部総務課 (財産係)
 ☎0220(22)2091



Information 04

市立病院に就職希望の看護学生に 奨学資金を貸し付け

市は、将来、看護師として市立病院での勤務を考えている看護学生に、奨学資金を貸し付けます。

●市看護師奨学金
 【貸付対象者】看護師養成施設に在学する学生で、将来看護師として市立病院(診療所・老人保健施設を含む)に勤務しようとする人
 【募集人員・貸付金額】8人程度・月額10万円以内
 【貸付期間】貸付決定月から、看護師養成施設を卒業する月まで(看護師養成施設の修学年数を限度)
 ※要件に該当した場合、償還が全額免除になる場合があります

●市看護師修学一時金
 【貸付対象者】看護師奨学金貸付対象者のうち希望者
 【募集人員・貸付金額】8人程度・20万円以内
 【償還方法】無利子貸付(償還免除の制度なし)とし、看護師奨学金貸付の最後の月から10年以内に償還

●必要事項
 【連帯保証人】2人(1人は家族可、他1人は別世帯で独立生計を営む人)
 【申込方法】次の書類を郵送、または持参してください①貸付申請書②在学証明書(4月入学予定者は合格通知書、または入学通知書の写しを提出し、入学後に在学証明書提出)③戸籍抄本④在学する大学の学長、学部長、看護師養成施設の長などの推薦調書(4月入学予定者は不要)⑤その他、市長が必要と認める書類(医学奨学金等貸付応募理由書、履歴書、健康診断書など)
 ※様式は、医療局ホームページからダウンロードできます

Information 05

登米市民病院の再来受付機 開始時間が変更

登米市民病院では、電子カルテシステムの變更に伴い、再来受付機の開始時間を午前7時から8時に変更しました。ご不便を掛けないように、再来受付機に職員を配置し、

外来基本伝票を渡しますので、各診療科までお持ちください。ご協力をお願いします。
 【問い合わせ】登米市民病院事務局医事課(医事係)
 ☎0220(22)5511

厚生労働大臣表彰

本吉 真紀子さん
 (登米町遠見台・62歳)



1977年恵泉会に勤務。2007年からは老人ホームや障害支援施設の施設長として、住民との交流を重視した施設運営に取り組み、地域福祉の発展に貢献しました。豊富な経験を生かし、各種研修で講師を務めるなど、後進の育成にも注力。現在も社会福祉の充実に尽力しています。

Information 07

自動販売機設置者を募集

市の施設に設置する自動販売機の設置者を募集します。希望する場合は、次の方法により申し込みください。

※自動販売機の設置にかかる電気料は、設置者負担

【販売機の種類】清涼飲料水（酒類を除く）自動販売機（災害救援対応型）

【応募方法】必要書類（申込書、仕様書など）を総務部総務課（市役所迫庁舎2階）で受け取るか、市公式ホームページからダウンロードし、募集内容を確認の上、参加申込書類を提出してください

※公募設置希望者が複数の場合は、抽選で設置者を決定します

【募集期間】2月20日（木）～3月6日（金）

※郵送の場合は必着



選定方法	施設	台数	設置期間	設置料金
競争入札	登米市役所迫庁舎（バス待合室）	1台	令和2年4月1日～令和5年3月31日（3年間）	落札金額
公募抽選	消防防災センター（ロビー）、中田農村環境改善センター、東和定住促進住宅、中田定住促進住宅、石越定住促進住宅	各1台	令和2年4月1日～令和4年3月31日（2年間）	売上高に8%または8.8%を乗じた金額
	中田生涯学習センター	2台		

【入札・抽選日】3月13日（金）

【提出先・問い合わせ】総務部総務課（財産係）

☎0220(22)2091

Information 08

障がい者の社会参加を促進
自動車燃料費・タクシー利用費を助成

障がい者の社会参加を促進するため、障がい者の使用する自動車の燃料費とタクシー利用料金の一部を助成します。各事業とも、平成31年1月1日以降に登米市に転入した人は、平成31年1月1日現在の住所から、住民税の課税（非課税）証明書を、申請の際に提出してください。

障害者自動車燃料費助成事業

【対象者】世帯全員の住民税が非課税で、次の①～③のいずれかに該当する人

- ①身体障害者手帳1・2・内部3級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1・2級で自動車を所有し運転する人、またはその自動車を障がい者のために運転する同居者
- ②身体障害者手帳下肢3級で、自動車を所有し運転する
- ③療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1・2級、18歳未満で身体障害者手帳1・2級・内部3級の人のために自身が所有する自動車を運転する同居者

※福祉タクシー利用助成事業や透析患者通院費助成事業を利用している人、社会福祉施設入所者、申請時に継続して3カ月以上入院している人、生活保護受給者は対象外です

【対象車両】普通自動車、小型自動車、軽自動車のうち4輪以上のもの

※携行缶など、対象車両以外の給油はできません

【利用券の使い方】ガソリンスタンドで給油の際に、利用券（1枚千円分）を月2枚（年間最大24枚）まで利用できます

【交付手続き】3月2日（月）から、各総合支所市民課（市民係）で受け付け、交付します

【持参するもの】①障害者手帳②運転免許証③車検証④印鑑

※福祉タクシー利用助成事業は、または体幹・下肢機能障がい者で車いす移動に限られる

③療育手帳A④精神障害者保健福祉手帳1・2級

※障害者自動車燃料費助成事業または透析患者通院費助成事業を利用している人は対象外です

【利用券の使い方】タクシーに乗ることに1枚、1カ月に4枚まで利用できます（1年間で最大48枚）

※利用券1枚は、小型タクシーの基本料金と同額になります

【交付手続き】3月2日（月）から、各総合支所市民課（市民係）で受け付け交付します

【持参するもの】①障害者手帳②印鑑

【問い合わせ】福祉事務所生活福祉課（障害福祉係）

☎0220(58)5552

▼各総合支所市民課（市民係）



Information 09

ホストファミリーバンク登録者を募集

市は、海外姉妹都市などからの青少年訪問団や旅行者など、ホームステイを希望する外国人を受け入れる「登米市国際交流ホストファミリーバンク」登録者を募集しています。ホストファミリー（受入家庭）に登録して、身近な国際交流を体験してみませんか。

【登録要件】次の全てに該当する家庭

- ①申請代表者が満18歳以上
- ②世帯人数が2人以上
- ③世帯全員の同意を得ている
- ④登米市に居住、在勤または在学している
- ⑤食事や送迎など、日常生活の支援を無償で提供できる

【登録方法】登録申請書（市民協働課備え付けまたは市公式ホームページからダウンロード）に必要事項を記入の上、提出してください

※申請は随時受け付けます

【受け入れまでの流れ】①市から登録家庭へ受け入れ依頼通知を送付②登録家庭は受け入れの可否を市へ連絡③市で受け入れ可能家庭と調整し決定

【申し込み問い合わせ】企画部市民協働課（地域振興係）

☎0220(22)2173

▼登米市国際交流協会

☎0220(52)2144

Information 10

宿泊させて農作業体験をお手伝い
ファームステイ受入会員を募集

市グリーン・ツーリズム推進協議会は、令和2年度に予定している宿泊農業体験（ファームステイ）の受入会員を募集します。

ファームステイでは、子どもたちを自宅に宿泊させ、農作業や家事の手伝いなど、農家の暮らしを体験してもらいます。

特別なことをする必要はなく、普段の仕事を子どもたちと一緒に作業します。受入会員には、料金をお支払いします。

【受入人数】1戸当たり3～5人程度

【受入料金】1泊2日／1人当たり7千円

【申込方法】電話

【年会費】千円

【申し込み問い合わせ】市グリーン・ツーリズム推進協議会事務局（産業経済部商業観光課内）

☎0220(34)2734



Information 11

「みやぎ鎮魂の日」に一斉黙とうを

県は、3月11日を「みやぎ鎮魂の日」と定めています。市では、東日本大震災で亡くなられた人を追悼し、震災の記憶を風化させることなく後世に伝えていくため、一斉黙とうを実施します。ご理解とご協力をお願いします。

【実施日時】3月11日（水）午後2時46分

【実施方法】防災行政無線のサイレン吹鳴を合図に、一斉黙とうを実施

【問い合わせ】総務部防災課（防災危機対策係）

☎0220(22)2130

Information 12

軽自動車税を減免します

身体障害者手帳などを持ち、一定の要件に該当する場合は、軽自動車税を減免します。手帳の等級、車両の所有者、運転者を確認しますので、期間内に申請してください。

【申請書類】▼減免申請書（税務課、各総合支所で配布）▼自動車検査証▼運転免許証▼身体障害者手帳▼戦傷病者手帳▼精神保健福祉手帳▼療育手帳▼マイナンバー通知カード▼マイナンバーカード▼印鑑

【申請期間】4月2日（木）～23日（木）▼納期限の7日前まで受け付け

※継続申請者には、3月下旬に申請書を郵送します

【申請先・問い合わせ】総務部税務課（市民税係）

☎0220(22)2163

▼各総合支所市民課（市民係）





いつまでもお元気で おめでとうございます 祝100歳



千葉しのぶさん
(南方町・一ノ曲)
大正9年1月1日生まれ

米山町津山生まれのしのぶさんは、農業を営んでいた邦治さんと結婚し、南方町に嫁ぎました。よくしゃべる明るい人柄で、多くの人から慕われているしのぶさん。近所の友達がいっしょお茶飲みに来ていました。温泉



千葉光子さん
(米山町・千貫)
大正9年1月2日生まれ

光子さんは、米山町津山出身で、同じ津山に住む正二さんと結婚。4人の子どもを育て上げました。結婚するまでは看護師として働いていましたが、結婚を機に退職。正二さんと二人三脚で



三浦ミエ子さん
(中田町・神ノ木)
大正9年1月3日生まれ

夫の仕事の都合で、中国の満州で生活していたこともあるミエ子さんは、主婦として家庭を支え、6人の子宝に恵まれました。食べ物の好き嫌いがなく、食事は残さずに食べ、体調を崩してもすぐに良くなるほど丈夫です。ユーモアある会話で周りの人を楽しませているミエ子さんは「皆さんのおかげで100歳を迎えられました。本当に夢のようです」と、お祝いに駆け付けた人たちへ感謝の思いを伝えていました。



二階堂あけ子さん
(登米町・光風園)
大正9年1月7日生まれ

あけ子さんは、大崎市古川で生まれ、東京都港区新橋に移住。その後、中田町に嫁いで魚屋を営んでいました。以前は、踊り、ヨガ、ボウリングなど多趣味だったあけ子さん。毎日の身だしなみにも気を使い、「上品でおしゃれな人」と周りから慕われています。現在の楽しみは、昔から大好きだったうなぎを食べること。「うなぎを食べることが長生きの秘訣だね」と家族から話しかけられると、笑顔でうなずいていました。



櫻井みいさん
(迫町・鉄砲丁)
大正9年1月13日生まれ

みいさんは石巻市から嫁ぎ、「男さんと結婚し、北木工で働きながら6人の子宝に恵まれました。現在は、週2回デイサービスに通い、自宅では週刊誌や新聞を読んで過ごしています。みいさんの何よりの楽しみは毎日の晩酌「これからもおいしいビールを毎日飲みたい」と笑顔を見せるみいさんに、長女のひろ子さんは「まだまだ元気なので、もっと長生きして長寿のギネス記録を更新してほしい」と期待を寄せました。



菅原徳志さん
(米山町・今泉)
大正9年1月25日生まれ

米山町鈴根出身の徳志さんは、東京の映画館で映写技師として働き、3人の子どもを育て上げました。100歳を迎えた今でも介護サービスは利用せず、食事や入浴など、自分のことは自分でしています。最近の趣味は時代劇や相撲を観賞すること。徳志さんは「昔は80歳でもいい歳だと思っただけ、まさか自分が100歳を迎えられるとは思わなかった。200歳までいくかもな」と笑顔で話していました。

受動喫煙防止を強化 マナーからルールへ

東京2020オリンピック・パラリンピックを控え、受動喫煙対策が遅れていた日本は国際水準の対策が求められています。受動喫煙とは、たばこ(加熱式たばこを含む)から発生した煙や蒸気を自分の意思に関係なく吸い込んでしまうことで、たばこを吸わない人の健康に悪影響を及ぼします。改正された健康増進法が4月から全面施行となり、受動喫煙防止の取り組みが強化されます。

受動喫煙を防ぐためには、たばこを吸う人も、吸わない人も受動喫煙による健康の影響を理解し、受動喫煙が生じないように周囲の状況に配慮することが大切です。

●多くの施設で屋内が原則禁煙になります
4月から、事業所スパー、

集会所、理・美容室、鉄道など、2人以上が利用する施設の屋内は原則禁煙となります。また、タクシー、バス、旅客機の内部は完全禁煙となり、違反すると罰則の対象になることもあります。

●20歳未満の人は喫煙エリアへの立ち入り禁止
健康への影響が大きい20歳未満の人は、喫煙可能なエリア(屋内・屋外に関わらず全ての喫煙室と喫煙設備)に立ち入りできません。従業員なども同様です。

●屋内での喫煙は喫煙室の設置が必要
屋内喫煙専用室の基準を満たした喫煙室でのみ喫煙が可能です。喫煙室を設置する場合は、施設の入口などに標識の掲示が義務付けられます。飲食店では、条件を満たした場合のみ経過措置が適用され、店内全部または一部で喫

煙しながらの飲食が可能になります(保健所に届出が必要です)。
※詳しくは厚生労働省のホームページをご覧ください
<http://jyudokuisen.mhlw.go.jp>

【問い合わせ】
▼登米保健所
☎0220(22)6117
▼県保健福祉部健康推進課
☎022(21)2623

**よねやま診療所が
4月1日から休診**

よねやま診療所は、常勤医師採用のめどが立たないことなどから、4月1日以降休診します。現在、通院されている皆さまは、ご希望の医療機関へ紹介しますので、来院時にご相談ください。

【問い合わせ】よねやま診療所
☎0220(55)2011

3月の休日当番医

日	休日急患当番医	歯科休日当番医
1(日)	豊里病院(豊里町) ☎0225(76)2023	浅野歯科医院(南方町) ☎0220(29)6036
8(日)	二瓶内科胃腸科医院(迫町) ☎0220(22)6508	東和歯科医院(東和町) ☎0220(53)3811
15(日)	小出医院(登米町) ☎0220(52)2303	登米歯科診療所(登米町) ☎0220(52)3420
20(金) (祝)	千葉医院(迫町) ☎0220(22)3725	かがの歯科医院(中田町) ☎0220(35)2552
22(日)	八嶋中央診療所(石越町) ☎0228(34)2013	安藤歯科医院(迫町) ☎0220(22)0811
29(日)	おおたおおたにクリニック(中田町) ☎0220(35)1161	はら歯科医院(米山町) ☎0220(55)3313

●診療時間 9:00~17:00
【休日急患当番医】
●休日・夜間診療案内 ☎0229(24)2267(24時間)
●第2次診療 登米市民病院 ☎0220(22)5511
【問い合わせ】登米市医師会 ☎0220(22)2084
※月~金曜日(祝日、年末年始を除く)
【歯科休日当番医】
【問い合わせ】市民生活部健康推進課 ☎0220(58)2116
※当番医は、変更する場合があります。各医療機関に確認の上、受診ください

3月のこころの相談

日	場所・受付時間・担当・予約先
11(水)	豊里公民館 13:30~15:30 カウンセラー ☎0225(76)4113(豊里総合支所)
13(金)	中田保健福祉会館 13:30~15:30 医師 ☎0220(34)2311(中田総合支所)
17(火)	米山総合支所 10:00~14:00 カウンセラー ☎0220(55)2112(米山総合支所)
18(水)	迫保健センター 9:00~11:00 臨床心理士 ☎0220(22)5554(迫総合支所)

精神科医師などが相談に応じます。安心してご相談いただくため、完全予約制です。相談日(土日、祝日を除く)まで、各予約先まで申し込みください。

登米市民病院小児科救急診療
●休日(日曜日):受付時間9:00~16:30
●夜間(月・水曜日)(祝日、年末年始を除く):受付時間18:00~20:00
【問い合わせ】登米市民病院 ☎0220(22)5511

3月の献血日程

- ① 7日(土)
▶イオンタウン佐沼
10:00~11:45
13:00~16:30
- ② 15日(日)
▶イオンタウン佐沼
10:00~11:45
13:00~16:30
- ③ 29日(日)
▶イオンタウン佐沼
10:00~11:45
13:00~16:30



※日程は変更になる場合がありますので、最新の日程は、市公式ホームページをご覧ください。

【問い合わせ】
市民生活部健康推進課
(健康推進係)
☎0220(58)2116

自殺予防
仙台いのちの電話
誰にも言えない気持ち
聞かせてください。
☎022(718)4343

ひきこもり
ひとりで悩まないで
宮城県ひきこもり地域支援センター
☎0229(23)0024

子ども夜間安心コール
●電話番号
#8000
(プッシュ回線の固定電話、携帯電話から)
☎022(212)9390
(プッシュ回線以外の固定電話、PHSから)
●相談時間
毎日午後7時~翌朝午前8時

休日・夜間診療案内
休日・夜間診療案内は下記の番号です(24時間対応)
☎0229(24)2267



豊里

文化財を守り伝える責務担う

「文化財防火訓練」は1月26日、平筒沼農村文化自然学習館で開かれ、地域の自主防災組織や消防団員、婦人防火クラブ員など70人が訓練しました。

訓練前には、豊里小中学校運営協議会委員の守屋博^{ひろし}氏を講師に、学習館で展示されている県指定有形民俗文化財のカマ神について講話。参加者らは郷土の歴史に聞き入り、先人から受け継いだ貴重な文化財を火災から守るため、防火訓練に真剣な表情で取り組んでいました。

年初め地区のつながり再確認

西野コミュニティ運営協議会の「新春懇談会」は1月11日、米山農村環境改善センターで開かれ、西野地区の各行政区、交通安全協会や小中学校の関係者ら38人が参加しました。

懇談会では、シンガーソングライターのかおる氏による歌謡ステージや参加者の舞踊などが披露。参加者は、今後の地域おこしや地域への関わり方などを話題に、年に1度の顔合わせを楽しみ、地区のつながりを再確認しました。



米山

寒さ切り裂き気合が飛び交う

「第66回石越町剣道大会」(石越町剣道協会主催、工藤^{こう}志会長)は1月19日、石越体育センターで開かれ、石越町域内の剣道愛好家約40人が白熱した試合を展開しました。

石越町剣道大会は、今回で66回目となる歴史と伝統ある大会。参加者は、年代別の紅白試合や個人戦でしのぎを削った後、各年代の優勝者が総合優勝をかけて競い合いました。選手たちは、日頃の成果を出し合いながら、冬の寒さを吹き飛ばすほどの気合を見せていました。



石越

郷土かるたで地域の歴史学ぶ

「新春郷土かるた大会」(南方公民館、南方町子ども育成協議会共催)は1月19日、南方農村環境改善センターで開かれ、南方地区の小中学生ら91人が参加しました。

大会は、南方町の歴史や史跡、名勝、特産物などが描かれた郷土かるたを使い、未就学児や小中学生が出場する個人の部と行政区やスポーツ少年団が出場する団体の部で競いました。参加者らは、楽しく交流しながら地域の歴史を学びました。



南方

福を願った横山不動尊豆まき

横山不動尊の「節分豆まき」は2月2日、横山不動尊境内で開かれ、老若男女約300人が福を求めて訪れました。

太鼓の音が響き渡る中、「福は内、鬼は外」の元気な掛け声に合わせて本堂で祈禱された豆袋がまかれると、訪れた人たちは歓声を上げながら、多くの福を呼び込もうと競って豆袋を集めていました。当たり付きの「福豆」が入った豆袋を拾った幸運な人には、福升や福飴などの縁起物が贈られました。



津山

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします



迫

令和初日の出を拝み健康祈願

今年で45回目を迎えた「元旦あるけあるけ大会」は1月1日、森地区内で開かれ、子どもからお年寄りまで約100人が森公民館を発着点とした約5^{キロメートル}のコースを歩き、ゴールを目指しました。

参加者は、休憩地点の上行寺境内で初日の出を拝みながら、それぞれ新年の決意や健康を祈願。ゴールした後は抽選会が開かれ、最後に参加者全員でご来光に向かって笑顔いっぱいの記念撮影をしました。

力強い音色が響き新年を祝う

「令和2年新春懇談会」(同実行委員会主催、佐藤^{さとう}貞一実行委員長)は1月10日、とよま観光物産センター「遠山之里」で開かれ、町内から88人が参加し、新年を祝いました。

懇談会では、とよま日根牛太鼓「桜乃会」がオリジナルの演奏曲「鼓音」と「来福」を披露。新春にふさわしい華やかで明るいリズムに、参加者から盛大な拍手が送られました。演奏後は、和やかな雰囲気の中で歓談しながら、地域のさらなる発展を願いました。



登米



東和

東和中で生徒の胸打つ講演会

「東和地区青少年育成講演会」は1月23日、東和中学校(千葉純子校長、生徒188人)で開かれ、生徒や教員など約200人が受講しました。

講演会は、上田情報ビジネス専門学校の比田井和孝^{ひだい かずたか}副校長が講師を務め、自身の経験を元にしたテーマ「与える者は、与えられる」と題して熱く講演。受講者の中には感動して涙を流す人もおり、「人として大切なことをあらためて考え、実行していこうと思った」と感想を話していました。

白銀の世界で雪遊びを楽しむ

自然体験交流事業「シンドバットの冒険と友だちづくり」(浅水コミュニティ運営協議会主催、羽生進^{はねいすすむ}会長)は、1月18、19の両日、秋田県横手市で開かれ、浅水小学校と横手市の増田小学校の児童26人が参加しました。

交流事業は、互いの地域を訪問し合い、自然体験学習を通じた交流を深めることが目的。児童らは、横手焼きそば作りやソリ滑り、スキーなどで雪いっぱいの横手の冬を楽しみながら、地元の児童らと交流を深めました。



中田

1月中の3歳6カ月健診でむし歯のなかった子どもたち



肺炎球菌感染症予防接種を忘れずに

市では、高齢者の肺炎球菌感染症予防接種の定期接種対象者に対し、平成31年4月に予診票(紫色の用紙)を配布しています。配布した予診票を使って予防接種できるのは、3月31日(火)までです。

肺炎球菌感染症予防接種の対象者は、本年度65、70、75、80、85、90、95、100歳に該当し、今まで肺炎球菌予防接種を受けたことがない人です。100歳以上の人は本年度のみ対象です。

市内協力医療機関で接種した場合の費用は3,620円です。予診票を紛失された人や4月以降に転入した人は、予診票を発行しますので、下記まで問い合わせください。

【問い合わせ】市民生活部健康推進課(健康推進係)

☎0220(58)2116



林 ゆめちゃん
(津山町本町四丁目)

むし歯がなかった子は、市内9地区で50人中44人でした

一般向け

子ども向け

PICKUP_04 「我は景祐」



熊谷 達也／著
戊辰戦争で会津藩への出兵を命じられた仙台藩。東北諸藩のため、奥羽越列藩同盟の結成に奔走した仙台藩士、若生文十郎景祐の生涯を描きます。

PICKUP_05 心がきれいになる「365日 誕生花と名言」



WRITES PUBLISHING／編
365日の誕生花と花言葉、そして花言葉にぴったりの偉人の名言を紹介。自分の誕生花のほかにも、さまざまな花や名言との出会いが楽しめます。

PICKUP_06 親子で!おうちで!さくっとできる!「超★簡単 声まね・音まねあそび」



井上 明美／著
短時間で簡単にできる、声まね、音まね遊びをたくさん紹介。子どもの音感や表現力などの感性を育みながら、親子の触れ合いを深められる一冊です。

続々新刊が入荷。詳しくは市公式ホームページで

PICKUP_01 「ひとりぼっちのモンスター」



アンナ・ケンプ／作、サラ・オギルヴィー／絵
町から追いやられ、たった一人で暮らしていたモンスターのデブは、ある日6歳の勇者パーンバルと仲良くなります。心優しいモンスターのお話です。

PICKUP_02 「命のものさし」



今西 乃子／著
動物たちは、人間の都合で守られたり捨てられたり食べられたりします。動物の命と向き合い続けた獣医が、命の大切さを問い掛けます。

PICKUP_03 「どこ?」



山形 明美／作
お人形が目覚めると、リスたちにパーティへ誘われます。どんなパーティが待っているのでしょうか。どのページも探すものがいっぱい楽しい絵本。

Library Topics

みんなの図書館

利用者の声や図書館のイベントなどをお知らせします

本の返却はお済みですか

貸出期間は貸出日から14日間です

貸出期間を過ぎると、次に読みたい人に貸し出しができませんので、期限内に返却してください。毎年、本を借りたまま転出し、連絡が取れなくなる人がいます。特に、進学、就職や転勤などで転出を予定している人は、もう一度、図書館から借りている本がないか確認をお願いします。

家族に本を借りている人がいた場合は、返却するよう声掛けをお願いします。また、住所や連絡先など、利用者カードの登録情報に変更がある場合は修正しますので、最寄りの図書館(室)で手続きしてください。



- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 毎週月曜、祝日、年末年始など(中田図書館は祝日も開室)
※その他、館内整理など不定期での休館もありますので問い合わせください
- 問い合わせ 迫図書館 ☎0220(22)9820
登米図書館 ☎0220(52)5330
中田図書館 ☎0220(34)8081

This Month Pick Up Hot Communication

☑ Books

☑ Health

☑ Young

☑ Dream

☑ Child

☑ Half Century

☑ One's Home

Dream

ぼくとわたしの夢

Monthly Hot Communication



吉田 悠聖さん

よしだ・ゆうせい 豊里中2年
豊里町・横町

便利で笑顔のあふれる世界へ

私の将来の夢は、生活用品に関するプログラマーになることです。なぜなら、私はパソコンを使ってプログラミングすることが好きで、いつか人の役に立つプログラムを作りたいと思ったからです。

私たちは、テレビやエアコン、パソコン、ゲーム機に至るまで、たくさんのプログラミングされた用品に囲まれて生活しています。それらの用品の発展が、私たちの普段の生活をさらに豊かにしてくれると思います。

しかし、夢を叶えるためには、まだまだ分からないことも多くあります。これから専門的なことを勉強して、私にしかできないプログラムを開発し、個性的なプログラマーになりたいと思います。

私の作ったプログラムで世界中の人たちの暮らしが便利になり、みんなの笑顔があふれるような、幸せに満ちた世界にすることが私の将来の大きな夢です。

Young

まちの若い衆

Monthly Hot Communication

亀井 歩さん(28)

かめい・あゆみ
津山町・平形

★身長と血液型 168㎝でO型です。

★現在は 津山町の特別養護老人ホーム柳風園で介護福祉士として働いています。食事やトイレ、入浴の介助など介護業務全般を担当し、5年目になります。小学生のころに授業の一環で老人ホームを訪問したときのおじいちゃん、おばあちゃんの笑顔がとても素敵で忘れられません。この笑顔に囲まれて仕事をしたいと思ったことが介護福祉士を目指したきっかけです。いずれはケアマネジャーとして、一人一人に合った介護サービスを提供していきたいと思っています。

★自分の性格 人の好き嫌いがなく、社交的だと思います。研修で年齢や地域がばらばらの人たちと出会ったときも、たくさんの人たちと仲良くなり、今でも連絡を取り合っています。

★趣味は お酒やダーツ、映画鑑賞です。人と話すことが好きなので、バーでマスターや他のお客さんと会話を楽しみながら、ウイスキーを飲むことが好きです。

★今やってみたいことは 日本から出たことがないので、海外旅行をしてみたいですね。ディズニーが好きなので、アメリカ合衆国のフロリダ州にあるディズニーランドに行ってみたいです。

★理想の女性像 はきはきしている人ですね。裏表がなく、引っ張ってくれる人がいいです。

★登米市について一言 登米は地域の絆が強く、近所付き合いの残る温かいまちだと思います。若い人たちで、その温かさを絶やさないようにしていきたいですね。



Child

わが家のアイドル

Monthly Hot Communication



山内 翔太くん(3歳)

2016年7月5日生まれ
東和町・錦織2区 舞衣さんの長男
車、トラック大好き。毎日「一番星ブルース」を歌う渋い息子。たくさん食べて遊んで大きくなってね。



近藤 凜空くん(1歳)

2018年6月26日生まれ
中田町・館 秀仁さんの長男
いつもにこにこ笑顔がかわいくて、人懐っこい凜空くん。これからもいっぱい食べて元気にすくすく成長してね。



金野 椿旺くん(1歳)・桜空ちゃん(3歳)

2019年1月10日・2016年4月15日生まれ
石越町・第七 正太さんの長男・長女
仲良しきょうだいの二人。毎日笑顔がいっぱいです。たくさん遊んで大きくなろう。

～「わが家のアイドル」を募集～

3歳までの子どもたちを募集しています。ご家族の記念にいかがでしょうか。投稿お待ちしております。
＜応募方法＞①氏名(ふりがな)・性別②住所③行政区④生年月日⑤電話番号⑥掲載する保護者の氏名⑦コメント(50字以内)⑧写真データを添付し応募してください <応募先>総務部市長公室広報広聴係
〒987-0511 迫町佐沼字中江二丁目6番地1 Eメール:koho@city.tome.miyagi.jp 電子申請:
<https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi/uketsuke/dform.do?acs=212IdolMyHome>

電子申請 QR コード





高橋 富雄さん(80) さつ子さん(80) 豊里町・白鳥 1966(昭和41)年6月入籍

けんかしても一緒に踊って仲直り

★二人のなれ初めは 【さつ子】お見合いだね。あの頃はお見合いで結婚する人がほとんどだったからね。 ★お互いの第一印象は 【富雄】優しそうで良く見えだね。年も同じだった方がいいが、若いうちに結婚した方がいいって親から勧められて、結婚を決めたの。 ★お互いの性格は 【富雄】たくましいよ。言うことが年々強くなってきてるな(笑)。 【さつ子】自分の言うことは曲げない人だね。 ★現在の楽しみは 【富雄】二人とも踊りが好きだから、20年前に「東北股旅一座」って名前前で団体を立ち上げて、趣味で一緒に舞踊をやったんだ。いろんな行政区を回ったり、大会に出だりして、披露することが今の楽しみだね。常に動いてるから健康にもいいよ。 ★夫婦円満のコツは 【富雄】けんかしても、一緒に踊れば仲直りできるね。 【さつ子】腹立つこと言われでも受け流すことだね。 ★これからしたいことは 【二人】動けるうちは、二人で一緒に踊っていたいね。

おらほの道の駅

道の駅「三滝堂」



おすすめのイチゴ大福は、当日に仕入れた米山産のイチゴ「もういっこ」を使用し、やわらかい大福で包んだ見た目もかわいい和菓子です。

今月は、道の駅「三滝堂」の猪股浩美店長にお話を伺いました。 Qおすすめ商品などを教えてください。 今の時期は、米山産のイチゴ「もういっこ」を使用した、いちご大福がおすすめです。「もういっこ」は、大粒でクリーミーな甘さと、ほのかな酸味が特徴のイチゴ。いちご大福は、当駅で手作りしているため、こでしか味わえない商品です。金、土、日曜日限定ですので、お買い求めの際はご注意ください。「もういっこ」だけの販売もしています。



大きく濃厚な味のソフトクリームは、380円で販売。

ので、春の訪れにぴったりな甘酸っぱい味を堪能ください。テイクアウトコーナーでは、地域を厳選し、えりすぐりのイチゴを使ったソフトクリーム「あまおう」を販売。ドライブの休憩に、ほのかな酸味ある甘いソフトクリームでリフレッシュしてください。品ぞろえ豊富なお弁当も人気の商品です。250円とお求めやすい価格で販売しているソースかつ丼やみそかつ丼を始め、数多くの商品を取りそろえていますので、ぜひお買い求めください。 【問い合わせ】道の駅「三滝堂」 0220(23)7891



手ごろな値段で、種類も豊富なお弁当は連日盛況。

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication



佐々木 廣志さん(71) 在京津山会幹事長 津山町(石見)出身

「故郷はいつも心の中に」 昨年の台風19号により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。 私は、昭和22年に8人兄弟の四男として生まれ、中学を卒業するまで、家業である農作業の手伝いをして過ごしました。 主に畑や山仕事でしたが、春は桑の葉取り、夏には山からタバコの葉の運び出し作業、冬にはシイタケの温室栽培など、多くのことを経験しました。その中でも、暑い時期に自転車ですりくる冷たいアイスクリームや、蚕作業の休憩時の甘酒、ストーブの上で焼いた分厚いシイタケなどを家族みんなで食べたときのおいしさや楽しい時間を特に思い出します。 季節ごとの楽しみといえば、春は沢登り、野イチゴや桑の実、カニを取り、夏には土器の発掘、川での水遊び、秋にはアケビや栗拾いで、一日中山中を歩き回り、冬には近所の仲間たちとスキーやソリ滑りをしたものです。 冬の長い夜には、家族でいり端に座り、眠い目をこすりながらタバコの葉を一枚一枚重ねる作業をしました。夜なべのおやつに食べたサツマイモと渋柿の塩漬が眠気も吹き飛ばすほどのおいしさだったことを覚えています。 私の育った津山町柳津石貝は、三方が山に囲まれ、とても自然豊かな所です。故郷を離れ、東京に働きに出てから半世紀以上が過ぎましたが、今でも昔のことを懐かしく思い出します。 また、いくつになっても帰省するときはうれしく、その際には、柳津虚空蔵尊や横山不動尊を参拝し、道の駅もくもくランドにも寄っています。故郷があることはとてもありがたいことです。そして私の故郷への思いは、いつも心の中にしまっており、あります。 最後に、登米市皆さまのますますのご発展を願っています。

俳句・川柳 まちの文芸

作品募集! ●4月号は短歌です。住所・氏名電話番号を記入し、2月28日(金)まで応募ください。作品・氏名には全てふりがなを振ってください。応募者多数の場合選考して掲載します。

川柳 暖冬で昼寝している除雪機や 俳句 富士登山頂見上げ古希哀歎 初買の井ヶ田の前の列長し 床の間に南天飾り礼者待つ 小さき靴色とりどりに児の礼者 北上川の夜明けの序奏初明り

佐々木敬次 (石越) 及川総一郎 (東和) 及川 豊子 (東和) 大橋 久子 (東和) 村上 君枝 (東和) 石川 敦子 (中田)

ホットワイン香りに浮かぶ亡妻の顔 来ず行かず親のせつなき賀状言ふ 拙句にも寄する思ひや初句会 初日の出東京五輪の幕上がる 竹林のきらめく乗利休の忌 願うこと一つに定め初詣 三十日そば何と平和な音たてて 産土の山河も烟る雪時雨

菊地 完二 (中田) 菊地 典子 (中田) 黒田 律子 (中田) 山内 晨 (中田) 佐藤 民子 (石越) 須藤 桂子 (津山) 高橋 ちよ (津山) 山田 直信 (津山)

応募総数32作品

情報場 Information

催し

歴史博物館企画展 テーマは青島貝塚

企画展「青島貝塚」発掘から100年の時を超えて」を開催します。南方町にある青島貝塚は、大正8年に南方村本地尋常小学校校長だった高橋清治郎の紹介を受け、東北帝国大学教授松本彦七郎の指揮により発掘調査を実施。14体の埋葬された縄文時代の人が骨が発掘されました。

今回は発掘調査から100年が経過したことを契機として、時代ごとの調査成果の振り返りと、清治郎の考古学分野での活動を紹介します。

【開催期間】3月14日(土)～5月17日(日)午前9時～午後4時／毎週月曜日(月曜日が祝

**夜間納税相談窓口
(2月・3月分)**
【日時】2月27日(木)
3月19日(木)
いずれも午後8時まで
【場所】総務部収納対策課
(迫庁舎1階)
【問い合わせ】
総務部収納対策課(徴収対策係)
☎0220(22)2169

日の場合は翌平日)休館
【場所】市歴史博物館
【入館料】無料
【関連企画】
● 展示解説
【日時】3月21日(土)、4月19日(日)、5月4日(月・祝)午前11時～11時30分
※参加費は無料で、事前申し込み不要です

● 勾玉作り
【日時】4月29日(水・祝)①午前10時30分～正午②午後2～3時30分
【参加費】100円
※事前申し込みが必要です
【申し込み・問い合わせ】市歴史博物館
☎0220(21)5411

企画展「浮世絵 美の競演」
関連企画を開催
懐古館で現在開催している

住宅入居者を募集

募集する住宅

定住促進住宅	中田定住促進住宅 1号棟302号室(3階) (中田町石森字前田88番地1) ▶ 募集戸数 = 1戸(3DK) ▶ 家賃月額 = 3万500円 ▶ 駐車場なし
--------	--

【入居資格】住宅に困っている世帯
※定住促進住宅は一定以上の所得があることなどの要件があります
※東和定住促進住宅、豊里定住促進住宅、石越定住促進住宅は随時入居者を募集しています
※詳しくは、建設部住宅都市整備課まで問い合わせください
【申込期限】3月6日(金)
※期限厳守・郵送不可
【申し込み・問い合わせ】
建設部住宅都市整備課(住宅整備係)
☎0220(34)2316

**意見をお寄せください
市議会モニターを募集**

市民の皆さんから議会に関する意見を寄せていただくため「登米市議会モニター」を募集します。

【職務内容】▼本会議や委員会などを、議場やインターネット配信で傍聴すること▼議会に関することや議会だよりなどへの意見、提案を文書により提出すること▼議会との意

見交換会に参加すること▼議会で実施するアンケート調査に回答すること
【応募資格】▼満18歳以上▼議会運営に深い関心を持つ人▼地方公共団体の議員でない人▼常勤の公務員でない人
【任期】委嘱された日～令和3年3月末日
【募集人員】20人以内
【応募方法】住所、氏名(ふりがな)、生年月日(年齢)、電話番号、職業を指定の様式に記入し、議事事務局まで持参するか、郵送、ファクシミリ、電子メールのいずれかで申し込みください
※指定の様式は議事事務局で配布するほか、市公式ホームページからもダウンロードできます
【募集期限】2月28日(金)(当日消印有効)

企画展「浮世絵 美の競演」の関連企画として、登米秋まつりの山車に飾る桜の花づくり体験を開催します。
【日時】3月1日(日)、4月5日(日)午前10時～午後2時
【場所】登米懐古館
【参加費】無料(観覧料は必要)
【観覧料】大人 400円、高校生 300円、小・中学生 200円
※事前申し込み不要です
※浮世絵の企画展開催中に懐古館に入館し、希望する人に浮世絵しおりを差し上げます
【問い合わせ】登米懐古館
☎0220(52)3578

オレンジカフェでは、認知症の患者やその家族、地域の人などが集まり、情報交換したり、おしゃべりを楽しんだりする場です。音楽の生演奏を聴き、お茶を飲みながら、誰でも相談や専門家のアドバイスを受けられます。
【日時】3月21日(土)午後1時30分～3時30分
【場所】登米公民館
【参加費】500円
【定員】40人
【申し込み・問い合わせ】

「登米市足もみた〜い」がフット・ハンドマッサージボランティア養成講座を開催します。登米市足もみた〜いは、市内福祉施設やイベントなどで活動中です。詳細は問い合わせください。
【日時】3月17日(火)、19日(木)午前10時～午後4時
※両日受講ください
【場所】米山総合保健福祉センター
【内容】自分や相手の足や手をマッサージする技術を学ぶ
【定員】30人
【受講料】無料
【申込期限】3月10日(火)
※昼食、飲み物、タオル、スリッパを持参ください
【申し込み・問い合わせ】
登米市社会福祉協議会本部
☎0220(21)6310
登米市社会福祉協議会各支所

「ひとり親家庭等
就業支援講習会」を開催

【講習名】介護職員初任者研修・春期
【対象者】宮城県在住のひとり親または寡婦で全日程受講できる人
【日時】4月5日から9月20日までの毎週日曜日(全23回/実習2回含む)午前9時～午後5時10分
【場所】宮城県母子・父子福祉センター
【定員】15人
※定員を超えた場合は選考になります
【費用】教材費、実習費として9千円程度
※受講料は無料
【託児】無料(3歳～小学3年生)
【申込期間】3月1日(日)～20日(金)必着
【申込方法】講習名、住所、氏名、電話番号、託児の有無(子どもの年齢)を記入し、郵送またはファクシミリで申し込みください
【申し込み・問い合わせ】宮城県母子福祉連合会(宮城県母子・父子福祉センター内)
〒983-10832 / 仙台市宮城野区安養寺3-7-3
☎0222(256)6512
FAX0222(256)6512

DAIYU HOME CENTER
ダイエー 登米中田店

毎月8のつく日 8日 18日 28日 + 毎週土曜日

春の自転車勢揃い!

ご購入特典 3ヶ月点検無料 1台無料引取

税抜3,000円以上お買上げで

ポイント 5倍

ダイエーイト 登米中田店案内図 広告

ウジエスーパーさん 398
マツモトキヨシさん 346
● 黒玉堂さん
● JAみやぎさん
● 中田総合体育館
● 登米市立登米小学校
● 登米市立登米小学校

ヨークタウン内
ダイエーイト 登米中田店

宮城県登米市中田町石森字駒産400
TEL 0220-23-9433

営業時間 あさ8時～よる8時まで

確かな技術で まかせて安心 広告

電気工事・オール電化工事・電気通信工事
太陽光発電設備工事・IH、エコキュート・消防設備工事・点検

有限会社 五島電機

登米市中田町宝江新井田字荒谷60-1
TEL.0220-34-3349 FAX.34-5792

エネルギーに夢をのせて 広告

KUMANEN 熊谷燃料住設株式会社

災害時安定供給施設

■ アクアショップ KUMANEN ■ BFC クマネン 【関連企業】
■ コインランドリー 清潔空間 ■ なごみの家きらり ■ 網ネオウイング

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字北畠田 120 番 1
TEL.0220-22-2415(代) FAX.0220-22-6732
http://www.kumanen.jp E-mail:info@kumanen.jp

登米祝祭劇場 3月のイベント情報

開催日	内容	問い合わせ
1㊤ ～ 31㊤	●蘇る記憶 夢フェスタ名場面展 【時間】午前9時～午後5時 ※最終日は午後3時まで 【会場】事務室前 【入場料】無料	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111
7㊤ 8㊤	●創作劇公演 第21回夢フェスタ水の里 「正義」受け継ぐ者たちへ ～津山 イナリユウの伝言～ 【開演】午後1時30分 【会場】大ホール 【入場料】 大人：千円 小中高生：500円 ●津山宝展 ～小さな町の大きな感動～ 【時間】午後0時30分～ 【会場】小ホール 【入場料】無料	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111
21㊤	●登米ジュニア吹奏楽団第1回定期演奏会 【開演】午後1時30分 【会場】大ホール 【入場料】500円	登米ジュニア吹奏楽団 ☎ 0220(34)3719
21㊤ 22㊤ 4/4㊤ 4/5㊤	●絵画ワークショップ 【時間】午前9時～午後3時 【会場】練習室 【参加費】2千円(画材、登展出展料) 【定員】10人程度	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111
22㊤	●ヤマハ音楽教室スプリングコンサート 【開演】午前10時 【会場】小ホール 【入場料】無料	佐々木時計楽器店 ☎ 0220(22)2255
29㊤	●熊谷多香踊45周年リサイタル ～令和の風を～ 【開演】正午 【会場】大ホール 【入場料】2500円(指定席)	熊谷流 ☎ 0220(34)3192
29㊤	●佐沼ミュージック音楽院・及川音楽教室 第14回ピアノ発表会 【開演】午後1時 【会場】小ホール 【入場料】無料	佐沼ミュージック音楽院 ☎ 090(2956)3349

※3月の休館日は、2日、9日、16日、23日、30日です
※入場料は前売り価格です

第61回中田地区 ピンポン大会参加者募集

【日時】3月19日(木)午後6時
30分(受付時間)午後6時
～

【場所】中田総合体育館

【参加資格】中田町内在住者
または勤務者

【内容】団体戦(3シングルス・
硬式)▼家族・職場・友人・男女
混合可▼1人で参加希望、人
数がそろわない場合などは、
問い合わせください

【参加費】1人≒300円

【申込方法】電話または中田総
合体育館、大会事務局に備え
付けの申込用紙か任意の用紙
に、チーム名、参加者全員の氏
名、年齢、電話番号、中田地区
ピンポン大会参加希望と明記
の上、ファクシミリで送信し
てください

【申込期限】3月10日(火)

【申し込み・問い合わせ】大会
事務局(中田町卓球協会・ア
スモード内)担当≒佐瀬
☎ 0220(58)2788
☎ 0220(58)2787

大事な命を救うため 普通救命講習会を開催

救急車が到着するまでの間
に適切な応急手当が施される

【問い合わせ】ほっとスペース
わか
☎ 090(6250)3860
※ショートメールでの問い合
わせも可

JICA 海外協力隊を募集

JICA(独立行政法人国
際協力機構)では、海外協力隊
を募集しています。
【募集期限】3月30日(月)まで
【応募資格】日本国籍を持ち、
昭和25年4月1日から平成12

ことで、一人でも多くの人た
ちが救命されることを目指
し、普通救命講習会を開催し
ます。

【日時】3月15日(日)午前9時
～正午

【場所】消防防災センター

【定員】30人(先着順)

【申込期限】3月9日(月)

【申込方法】消防署、各出張所
へ電話で申し込みください
※再講習者も募集しています
【申し込み・問い合わせ】消防
署救急係
☎ 0220(22)2119

悩みを持つ女性を支援 ひきこもり女性当事者会

人と関わることや社会に出
ることへの不安、家族関係、自
分の感じている生きづらさな
ど、同じ体験を持つ人と分か
ち合う、女性のためのひきこ
もり当事者会を開催します。
【日時】3月21日(土)午後2時
～4時
※毎月1回開催しています。
4月以降の開催日は問い合わ
せください

【場所】迫にぎわいセンター

【対象】女性のひきこもり当事
者および経験者

【参加費】無料
※事前申し込み不要

お知らせ

家庭や地域が協力して
子どもの犯罪被害を防止

警察では、子どもの犯罪被害

ねんきんだより

異動時期は国民年金の 届け出を忘れずに

年金加入者は、職業などに
より、3つの種別に分かれま
す。20～60歳の間に種別が変
わる場合は、届け出が必要で
す。

●保険料の納付
第1号被保険者は、給料か
ら天引きされる会社員など
と異なり、自分で保険料月額
1万6410円(令和元年度時
点)を納めなければなりません。
加入手続き後、納付書が送

■第1号被保険者 (学生、フリーター、自営業者、農業従事者、無職の人など)		
こんなとき	変更後の種別	届け出先
就職して厚生年金に加入したとき	第2号被保険者	勤務先
第2号被保険者の扶養に入ったとき	第3号被保険者	配偶者の勤務先
■第2号被保険者 (会社員、公務員など)		
こんなとき	変更後の種別	届け出先
退職したとき	第1号被保険者	各総合支所市民課
退職して第2号被保険者の扶養に入ったとき	第3号被保険者	配偶者の勤務先
■第3号被保険者 (第2号被保険者に扶養されている年収130万円未満の配偶者)		
こんなとき	変更後の種別	届け出先
収入が増えるなどして扶養から外れたとき	第1号被保険者	各総合支所市民課
扶養している配偶者が65歳になったとき	第2号被保険者	勤務先
就職して厚生年金や共済年金に加入したとき	第2号被保険者	勤務先
扶養している配偶者の勤務先が変わったとき	第3号被保険者	配偶者の勤務先

付されますので、銀行、農協、
信用組合、信用金庫、郵便局、
コンビニエンスストアや電子
納付で支払うか、口座振替を
ご利用ください。収入が無く、
納付が困難な場合は、申請に
よって保険料を免除または猶
予する制度があります。学生
には、学生納付特例制度があ
りますので、年金事務所また
は最寄りの総合支所市民課ま
でご相談ください。

【問い合わせ】
▼古川年金事務所
☎ 0229(23)1200
▼市民生活部国保年金課(年
金医療係)
☎ 0220(58)2166

害防止のために警戒を強化し
ています。子ども自身、保護
者、地域の人たちが互いに協
力し、注意し合うことで、被害
を未然に防ぐことができます。

●保護者の防犯ポイント

①子どもが出掛けるときは、
行き先、遊ぶ友達の名前、帰宅
時間を確認②一人で遊ばせな
い。外出時に一人にしない③
不審な人の誘いに乗らないよ
うに指導し、防犯グッズの活
用と大声を出す練習をする

●子どもの防犯ポイント

①知らない人についていかな
い②知らない人の車に乗らな
い③連れて行かれそうになっ
たら大声で叫ぶ④「変だ」「怖
い」と思ったらすぐ逃げる⑤
「おかしい」と思ったことは家
の人に知らせる⑥一人で遊ば
ない⑦出掛ける前に「誰と」
「どこで」「何をするか」「何時
に帰るか」を家の人に話す

【問い合わせ】
▼佐沼警察署
☎ 0220(22)2121
▼登米警察署
☎ 0220(52)2121

<p>人と環境への 新しい優しさを 目指して お気軽にご相談 下さい</p>	<p>株式会社 清建 環境プロバイダ 本社/〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字南駒木袋212-3 TEL.0220-22-7085 FAX.0220-22-7658</p>	<p>仙台(営)/〒989-3127 宮城県仙台市青葉区愛子東三丁目7番2号 広告 TEL.022-799-7213 FAX.022-799-7214 南三陸(営)/〒986-0782 宮城県本吉郡南三陸町入谷字大船沢313 TEL.0226-46-1027 FAX.0226-46-2122 URL www.kkseiken.co.jp E-mail info@kkseiken.co.jp</p>
	<p>有限会社 清建物流 TEL.0220-22-9430 FAX.0220-21-1535 本社/〒987-0512 宮城県登米市迫町森字平柳14-1</p>	<p>有限会社 リースキン宮城 TEL.0220-22-3431 FAX.0220-22-3495 〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字 下田中53番地8 </p>

登米市は自主財源を確保するため、広報とめに有料広告を掲載しています。

<p>株式会社 刺蒸くまがい</p>	<p>●働く会社● ●法事・宴会 広告 中田中学校通り 0220-34-5002</p>
<p>株式会社 誠香社</p>	<p>葬儀からご法要までの一環システム 登米市内ホールは5ヶ所ございます。(お選びいただけます) 24時間受付 0220-34-4856(代表)</p>

ときめき人

Tokimeki bito



NYの舞台で躍動 ダブルダッチ 国際大会優勝

米山町・猪込出身

秋山 裕太さん

あきやま ゆうた
1997年生まれ 血液型/O型

Profile

岩手県立大学4年生。米山中、佐沼高では野球部に所属。大学入学後に始めたダブルダッチでは、運動神経を生かし、派手な演技を披露する「アクロバット」を担当。好きな食べ物はイチゴ。

(右)世界一のトロフィーを手にした「刹那」のメンバー(一番右が秋山さん)



2本のロープで縄跳びをしながらパフォーマンスするダブルダッチの国際大会「NDDLホリデークラシック」は12月8日、アメリカ合衆国ニューヨーク州にあるアポロ・シアターで開かれ、本市出身の秋山さんが所属するチーム「刹那」が優勝し、世界一に輝いた。

「刹那」は岩手県立大学の男女6人で構成されるダブルダッチのチームで、サークル内の同級生で結成した。3年生で全国8位と好成績を取めたが、国際大会への出場条件は3位以内。「全国8位はうれしかったが、満足はできなかった」と、世界の舞台へ行くためには何をすべきかチーム内で話し合った。大学の講義や実習、アルバイトなどで多忙を極める中、時間を縫って練習時間を捻出。ちょっ

としたボタンの掛け違いからメンバー同士でぶつかり合うこともあったが、仲の良さが「刹那」の持ち味。何度も話し合いを重ね、技を磨きあげた。

4年生で迎えた全国大会では、練習が実を結び3位。サークル史上初の国際大会出場を決めた。勢いそのままに挑んだ世界の舞台。地元アメリカのチームに声援が集まり、アウェーの空気に包まれた中の一番だったが、「個性を出し切って楽しもう」と声を掛け合った。演技を見事ノームスで終え、世界の頂へと上り詰めた。

「世界一はスタート。大学を卒業し、仙台に就職するので、これからは宮城からダブルダッチを盛り上げていきたい」。活躍の場を移し、これからもダブルダッチの躍進を支えていく。

編集後記

▼成人を迎えた皆さん、おめでとうございます。今号は、成人式を取材しました。過去の「ぼくとわたしの夢」を基にインタビューさせてもらった横山さんと文さん。二人とも中学生の時の夢を追い、大学生になりました。二人の夢がかなうよう応援しています。(小野寺)

▼ときめき人の秋山さんの取材では、言葉では表現できないほどの苦悩があったのだと感じました。楽しく始めたことでも、投げ出したくなる時が誰にでもあります。そんな時は初心に返り、自分の気持ちと向き合うことで、努力し続けられるということを学ばせてもらいました。(三浦)

▼小学生未来新聞コンクールを取材。どのチームにも共通していたのは、しっかりと取材しているということ。関係者から話を聞き、現状や課題を整理した上で柔軟な発想で未来を描いていました。発表も工夫し、完成までの努力を感じ、とても感銘を受けました。(高橋)



登米市公式ホームページ
<https://www.city.tome.miyagi.jp/>



登米市メール配信サービス
(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)
<https://mail.cous.jp/tomecity/>